様式３（2015.06改）

作成日　平成２９年３月２０日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373200472
事業所名	せんねん村　グループホーム矢曽根　せんりょうまんりょう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し、町内の清掃・親睦会・お祭り・防災訓練にも参加している。防災訓練は他にも、学区単位・市単位の訓練に参加している。近所の喫茶店・ドーナツ店にもよく出かける。地域の保育園には、その誕生会に合わせて訪問している。せんねん村主催の秋祭りには地域の人も訪れる。特養内の『オレンジカフェ』は地域の人との交流の場となっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	町内会長・市長寿課職員・地域包括職員・民生委員・入居者・家族、管理者及び職員をメンバーとし、年６回開催されている。『人材』『環境』『運営』の各部署ごとに目標を定め、毎月実績報告し、運営推進会議でも発表している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	管理者は、市内の、医療・福祉・介護・行政の各担当者が一堂に会する、『西幡豆地域医療を守る会』のメンバーであり、２か月に一度行政はじめ関係者と連携を図り、、地域の人々が在宅で安全に暮らせる『地域包括ケア』体制づくりに貢献している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	「外部評価アンケート・面会時の家族との会話・担当者会議での意見聴取を、運営・プラン見直しに活かしている」と管理者は語る。ホームの特色として、入居者・家族も参加して担当者会議が開催されている。家族から「薬を減らしてほしい」との要望も医師と連携を図り実現した。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	○	○	○	○	○	○	○			